

平成28年度 第2回広島県道徳教育研究協議会

「道徳教育改善・充実」総合対策事業指定

実践報告



平成29年2月10日(金)
安芸高田市立可愛小学校 研究主任 児玉 克恵

- 1 研究主題について
- 2 研究の内容について
- 3 仮説の検証
- 4 成果と課題



2

1 研究主題について

学校教育目標

ふるさとを想い 夢と志をもち あしたを拓く児童の育成

文科省委託「道徳教育改善・充実」総合対策事業指定

研究主題

自己肯定感を高め、よりよい生き方を考える児童の育成
～ねらいにせまる道徳の授業づくり～

3

1 研究主題について

研究仮説

発問や評価の在り方を工夫し、ねらいにせまる道徳の授業を行えば、自他のよさに気づき、自己肯定感を高めることができるであろう。

重点指導項目

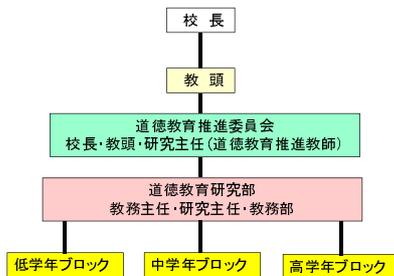
A 希望と勇気、
努力と強い意志

B 親切、思いやり

4

研究の推進体制

推進リーダー教師を中心とした推進体制



5

2 研究の内容について

ねらいにせまる道徳の授業づくり

- (1) 新たな学びがあるねらいの明確化
- (2) 「考え、議論する」ための発問
- (3) つながり合いを大切に授業づくり
- (4) 道徳の時間と他教科や体験活動とを関連させた効果的な道徳教育
- (5) 教科化に向けた評価の在り方

6

ねらいにせまる道徳の授業づくり

(1) 新たな学びがあるねらいの明確化



ねらいにせまる道徳の授業づくり

(1) 新たな学びがあるねらいの明確化

第1学年「かぼちゃのつる」 A-節度、節制
これまでの一般的なねらい



わがままをしないで節度ある生活をしようとする態度を育てる。

本校で設定したねらい



車にひかれて泣いているかぼちゃの気持ちを考えることを通して、自分勝手な行動は自分も周りの人も嫌な思いをすること**に気づき**、自分勝手にしないで行動をしようとする態度を育てる。

ねらいにせまる道徳の授業づくり

(2) 「考え、議論する」ための発問

- 児童が思わず考えたいような問い
- 児童に「えっ？」と思わせるような問い
- これまでは考えたことがないようなことを考えようとする問い
- 他の人の考えを聴きたいような問い
- 自問・内省ができるような問い
- 答えが一つでない、様々な角度・様々な方向からの思考を促す問い

ねらいにせまる道徳の授業づくり

(2) 「考え、議論する」ための発問

中心発問例



第3学年「ヒキガエルとロバ」

アドルフたちは、ロバの姿を見て、どんなことに気がついたのだろう。

第6学年「F駅ホームでのできごと」

主人公と同じ場面に出会ったら、あなたならどうしますか。それはなぜですか。

ねらいにせまる道徳の授業づくり

(2) 「考え、議論する」ための発問

三層構造表

道徳的価値の自覚を深める三層構造表「みんなと なかよく」【13】 深め発問 2年小学校

- 行ない 行動
- 登場人物が感じたこと・考えたこと
- 道徳的価値 考え方や生き方 信念

行ない 行動	児童の発言や記述	深め発問	児童の見取り(評価)
行ない 行動	・ 友達と遊ぶこと。 ・ みんなと仲良くすること。	・ 誰かを助けること、どうしていい方法か。 ・ みんなと仲良くすること。	
登場人物が感じたこと・考えたこと	・ 仲間外れにされた、悲しい思いをするから。 ・ 思いやりになると、いい感じに思えること。 ・ 思いやりをすることが大切。	・ 仲間外れにされた、どうしていい方法か、どうすることが大切か。 ・ 思いやりをすることが大切。	
道徳的価値 考え方や生き方 信念	・ 友達みんなのことを考えることが大切。 ・ 思いやりをすることが大切。 ・ 友達みんなのことを考えることが大切。	・ 友達みんなのことを考えることが大切。 ・ 思いやりをすることが大切。 ・ 友達みんなのことを考えることが大切。	

ねらいにせまる道徳の授業づくり

(3) つながり合いを大切に授業づくり

児童と児童をつなぐ

聴き合う

語り合う

考える



誰もが幸せにすごすために

第6学年 道徳学習プログラム

誰もが幸せにすごすために自分達ができる事をしよう

ねらいにせまる道徳の授業づくり

(4)道徳の時間と他教科や体験活動とを 関連させた効果的な道徳教育

「めざせ 仕事の達人！」

児童の思考が自然に流れていくような視覚的な支援として

ねらいにせまる道徳の授業づくり

(5)教科化に向けた評価の在り方

授業中の発言・ノートでのふり返りで印象的だった児童の記録

前の自分と戦おうとすれば、戦勝されたことは次にやっても二度とそれと同じことで怒られないようになる。(A児)
悔しさをとがねばならない。悔しいという気持ちには敗北感を感じてやるという気持ちになるから。(B児)
今の自分より上手くなる。(C児)
すぐ勝つという気持ちが多ければ、あきらめないということもできなくなる。あきらめたらそこで戦おうというのをも心にどめておきたい。(D児)
人と比べず自分に勝つという気持ち。(E児)
最高記録を出す。(F児)
人と比べないということを取り入れた。小さな目標を達成しながら大きな目標を達成していくというお子さんの生き方を見て感動した。(G児)
悔しいことを理由にいやなことや苦しいことに挑戦したい。(H児)
人と戦うのではなく自分と戦うという目標をたてて自分の自分をもっと成長させたい。(I児)
何事もあきらめなかったらいつかは絶対にできるようになる。(J児)
小説をもっと好きになればお子さんのために最後までやり続けたい。(K児)
褒められるとうれしい。(L児)
昨日の自分と戦って勝つ目標に向かっていきたい。(M児)
失敗してもチャレンジしたい。(N児)

ねらいにせまる道徳の授業づくり

(5)教科化に向けた評価の在り方

自己評価

項目	達成状況	達成率					達成率と目標を比べているかどうか	達成率と目標を比べているかどうか				
		1	2	3	4	5		1	2	3	4	5
1	自分自身と比べながら、定めた目標を達成することができた。	1	2	3	4	5	達成率と目標を比べているかどうか	1	2	3	4	5
2	自分自身と比べながら、定めた目標を達成することができた。	1	2	3	4	5	達成率と目標を比べているかどうか	1	2	3	4	5
3	自分自身と比べながら、定めた目標を達成することができた。	1	2	3	4	5	達成率と目標を比べているかどうか	1	2	3	4	5
4	自分自身と比べながら、定めた目標を達成することができた。	1	2	3	4	5	達成率と目標を比べているかどうか	1	2	3	4	5
5	自分自身と比べながら、定めた目標を達成することができた。	1	2	3	4	5	達成率と目標を比べているかどうか	1	2	3	4	5

ねらいにせまる道徳の授業づくり

(5)教科化に向けた評価の在り方

ポートフォリオ評価

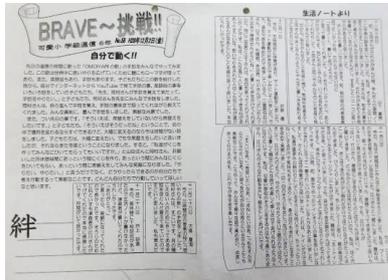
ねらいにせまる道徳の授業づくり

(5)教科化に向けた評価の在り方

エピソード評価

ねらいにせまる道徳の授業づくり

(5)教科化に向けた評価の在り方



六年生の学級通信より

25

ねらいにせまる道徳の授業づくり

(5)教科化に向けた評価の在り方

エピソード評価

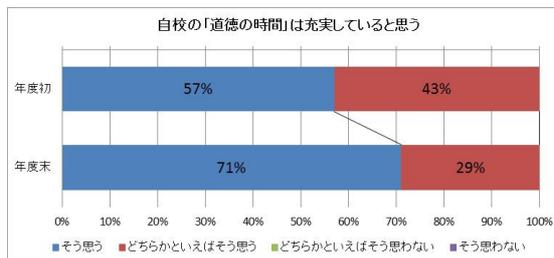


短いけれど、工夫した言い方で、気持ちもこもっていましたね。感動しました。

26

仮説の検証

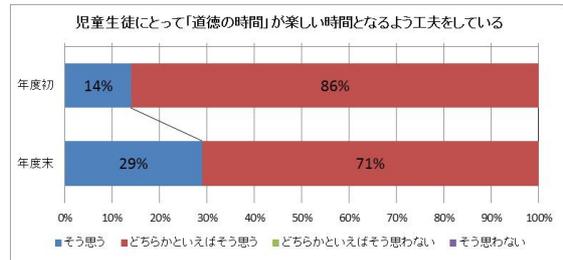
教職員アンケートより



27

仮説の検証

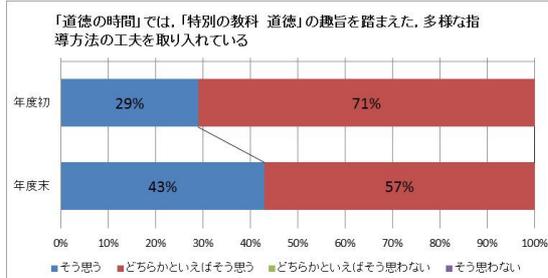
教職員アンケートより



28

仮説の検証

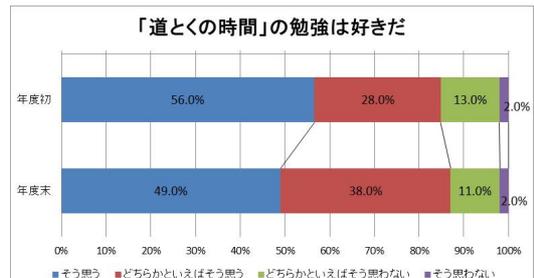
教職員アンケートより



29

仮説の検証

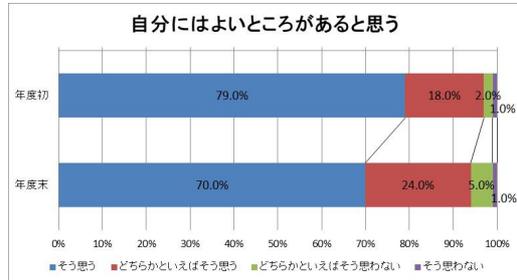
児童アンケートより



30

仮説の検証

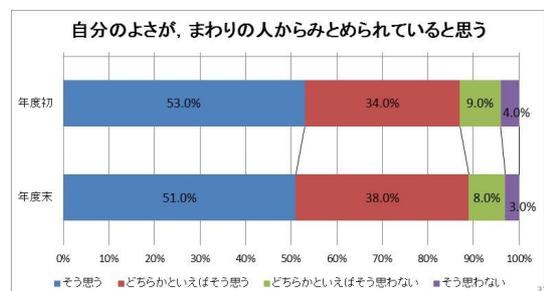
児童アンケートより



31

仮説の検証

児童アンケートより



32

成果



- ① 自己肯定感の高まり
- ② 深めたい道徳的価値からブレのない授業
- ③ 意図的・計画的な道徳教育

33

課題



- ① 評価活動を次の指導にどう生かしていくのか
- ② ファシリテーターとしての深め発問やゆさぶり

34

今後に向けて



「えっ」「なぜ」「どうして」「どうしたらいいの」



考え議論

「なるほど」「そうか」「これが大切なんだな」

35



ご清聴

ありがとうございました

36